

## 平成 17 年度当初予算 重点プログラム別概要

### 元気 3：基礎・基本の学力定着プログラム

( 主担当部局：教育委員会 )

- ( 1 ) 30 人学級等少人数教育推進事業
- ( 2 ) 信頼される教職員人材育成事業
- ( 3 ) 自ら創る学校支援事業

< プログラムの事業費 >

( 単位：千円 )

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	3 か年計
当初計画	1,037,106	1,089,000	1,073,000	3,199,000 程度
見直し後	1,037,106	1,330,595	1,345,000	3,712,701

注：見直し後の 16 年度は 12 月補正後予算額、17 年度は当初予算額、18 年度は同見込額

< 事業目標の見込み > 1 月末時点で把握できる見込み値を示しています。

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(1) 児童生徒の授業の理解度	目標値	82%	83%	85%
	実績値	82.8%		
(2) 学校で能力向上に取り組む教職員の割合	目標値	60%	65%	70%
	実績値	61%		
(3) 学校経営品質導入学校数 ( 累計 )	目標値	100 校	240 校	400 校
	実績値	139 校		

< 進捗状況 ( 現状と課題 ) >

- ・学校週 5 日制や新学習指導要領の実施に伴い、児童生徒の学力低下が懸念されています。また、国際的な調査では、学力は上位にあるものの、子どもたちの学習意欲や学習習慣に課題があると認められています。
- ・このため、30 人学級等の少人数教育を実施するなど、一人ひとりの個性に応じた教育を充実させて、児童生徒の学習意欲を高め、基礎・基本の学力の定着を図るとともに、児童生徒の学習状況を調査し、指導方法を工夫改善する市町村を支援しています。また、三重県型「学校経営品質」についても取組を進めていますが、引き続き、児童生徒や保護者、地域から信頼される学校づくりを進める必要があります。

<平成 17 年度の取組方向>

- ・児童生徒にとって、わかりやすい授業を実施することにより、学習意欲を高め、基礎・基本の学力の定着につなげます。このため、新たに中学校 1 年生に 35 人学級を導入し、小学校 1・2 年生での 30 人学級等とあわせて、引き続き少人数教育を推進します。
- ・また、平成 16 年度にすべての県立学校と、モデル的に取り組む小中学校に導入した三重県型「学校経営品質」について、定着と拡充を図るとともに、OJT(学校内研修)等の研修により教職員の実践的な指導力を向上させ、児童生徒や保護者、地域から信頼される学校づくりを一層推進します。

<主な事業>

少人数教育推進事業

【17 年度当初予算額 1,194,793 千円】(事業(1)の一部)

学習面や生活面で大きな変化がある中学校 1 年生における課題に対応するため、新たに中学校 1 年生に 35 人を基準とした学級編制(下限 25 人)を導入するとともに、小学校 1・2 年生での 30 人を基準とした学級編制(下限 25 人)等を引き続き推進し、児童生徒一人ひとりに応じた、きめ細かくいきとどいた少人数教育を進めます。

学力フォローアップ推進事業

【17 年度当初予算額 18,527 千円】(事業(1)の一部)

わかりやすい授業を行うため、児童生徒の学習状況を調査し、その結果を分析することにより指導方法の工夫改善に取り組む市町村を支援します。

自ら創る学校支援事業【17 年度当初予算額 29,224 千円】

小中学校、県立学校が、児童生徒や保護者、地域から信頼され活力ある学校づくりを進めるため、三重県型「学校経営品質」の定着と拡充を図り、学校自ら継続的な改善に取り組みます。

OJT 推進事業【17 年度当初予算額 13,523 千円】(事業(2)の一部)

教職員が、OJT(学校内研修)を通して日々の仕事の中で互いに学び合いながら、計画的な能力の向上に取り組みます。